

科目名		電気工事实習Ⅰ			
担当教員		富樫 久夫	実務授業の有無	○	
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	電気工事の基本となる単位作業から始め、電気工事士技能試験の課題を活用して電気工事の基本動作・工具の使い方を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	第二種電気工事士技能試験に余裕で合格できるレベル				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①電気工事実技教科書（雇用問題研究会） ②第二種電気工事士技能試験丸わかり（電気書院）および、オリジナル資料（PDF）				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気工事の工具と使い方 ・基本工具の名称とその使い方 ・一般的な材料		テキストと実物にて 実際にモノを手に取り、単位作業を行う		
2	単線図と複線図 ・単線図の意味 ・単線図から複線図に展開する方法		テキストとノートにて 実際に複線図を描いてみる（P.18～33）		
3	技能試験の基本作業（単位作業） ・ケーブルの加工 ・器具の接続		テキストと動画にて テキストと動画の視聴のあと、実際に作業してみる		
4	技能試験の基本作業（単位作業） ・端子台や遮断器等 ・ボックス作業と結線		テキストと動画にて テキストと動画の視聴のあと、実際に作業してみる		
5	候補問題の分析と作成1		テキストとPDF資料にて 13の課題すべてについて、施工条件を読み合わせ複線図を作図後に作成する		
6	候補問題の分析と作成2		各課題について留意点を出し合い、ブラッシュアップする		
7	壁付け作業		テキストPDF資料にて 電気工事の実際を体験する		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	期末試験		安全第一 身だしなみと整理整頓を心掛ける PDF教材はiPadでの閲覧になります。	
10 %	50 %	40 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士				